

### ちりゆく花③

(1) 仕事を終えて帰って来た清吉は、PTA 会長の古川を恐れて「ヨウ子、すまんがお父さんの言うことを聞いておくれ。学芸会に出るのはやめておくれ」と言いましたが、

(2) 「まア、お父さんなぜいけないの」「うむ、今日古川さんに頼まれてな。この村では古川さんに逆らうと暮らしていけないんだ」そう話している時、

(3) ヨウ子のことを心配して、田中先生がヨウ子の家にやって来ました。「こんばんは。私です、田中です」「は…はい…」

(4) 「先生ですか。何かご用でしょうか」「私、今日校長先生から頼まれたことがありました。でも断りました。そのことを、ヨウ子さんとお父さんにお話しようと思つて来たんです」「へ…では中に入つて下さい」家の中に入った田中先生は、

(5) 「学芸会にはぜひ出てね。ヨウ子さんは、決まった役をやって下さいね。正江さんが自分の役が嫌ならやめるでしょう。正江さんのわがままのために、ヨウ子さんがやめてはいけませんよ」

(6) 田中先生がヨウ子達と話している頃、正江の家では「これ正江、わしが校長に話しておいたから、ヨウ子の奴はきつと自分からやめて、良い役をお前にゆずるよ」と言っていました。

(7) 次の日の朝、わがままな正江は得意になって学校へ出かけて行きます。「私がヨウ子のやる役をやるなんて、うれしいわア」と喜んでやって来ると、

(8) 「正江さん、おはよう」と、いつも正江のご機嫌を取るナメ子が寄つて来ました。正江は「ナメちゃん私ね、学芸会でいい役をやることになったのよ。ヨウ子はきつとやめるわ」と話していました、

(9) そこへヨウ子を通りかかりました。「ヨウ子、お前あの役は私にゆずるんだって」正江は父の言葉を信じてそう言いました。するとヨウ子は「いいえ」

(10) 「私やりますわ正江さん。あの役が嫌ならやらないでもいいのよ」と答えました。正江はおどろいて「え…なんですって、そんなことまア…くやしい」正江はヨウ子がいい役をやめないと知ってくやしがつていますが、さてこの続きは…。